

# 高梁川流域キッズ

たかはしがわりゅういき

高梁川流域の

てんねんきねんぶつ

天然記念物

## 関係のある情報

- 【場所】 笠岡市中央町
- 【時代】 樹齢400年以上
- 【指定年月日】 昭和31年11月1日
- 【所有】 遍照寺
- 【見学】 可



へんじょうじのしだれいちょう

## 遍照寺の枝垂れいちょう

かんけい しまち  
関係する市町

かさ おかし  
笠岡市



## この天然記念物について

この枝垂れいちょうは、もともとは遍照寺の境内に高くそびえていた名木です。現在では、市街地に林立する高層建物に隠れるように、いちょう公園の中に立っています。幹の周囲は3.8m、根元の周囲は5.4m、高さは約25m、推定樹齢は約400年です。

遍照寺は、かつて笠岡の町の中心にあって、その多宝塔は、江戸時代の慶長11（1606）年5月に完成しましたが、イチョウは多宝塔建立記念の植樹として、その頃に植えられたといわれています。

遍照寺は昭和52年、西の浜の埋立地へと転出しましたが、巨大なイチョウの木は多宝塔とともにそのまま寺跡に残され、保存されています。